2018 年度 小委員会活動成果報告

（2019 年　2 月 12 日作成）

小委員会名	室内空気質小委員会	**主 査 名**：野崎淳夫 **就任年月**：2017 年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	環境工学委員会 （空気環境運営委員会）	**委員長名**：岩田利枝 **主 査 名**：柳　宇
設　置　期　間	2015 年　4 月　　～　　2019 年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・室内空気中の化学物質のほか，微生物，臭気，アレルゲンなど室内空気汚染物質全般について，新しい情報を収集する。 ・CO_2濃度を始めとする空気質設計法及び測定法の基準を提案する。 ・居住者のための空気質設計指針を提案する。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：無 主査：野崎淳夫（東北文化学園大学） 幹事：鍵直樹（東京工業大学） 委員：東賢一（近畿大学），一條佑介（東北文化学園大学），金勲（国立保健医療科学院），斉藤智（竹中工務店），高塚威（新日本空調），竹村明久（摂南大学），長谷川麻子（熊本大学），光田恵（大同大学），村上栄造（朝日工業社），柳宇（工学院大学），山口一（清水建設），湯懐鵬（新菱冷熱工業），四本瑞世（大林組）	
設置 WG （WG 名：目的）	空気清浄装置による室内汚染物質の除去評価方法検討 WG：空気清浄機の性能試験について検討 室内燃焼排ガス汚染検討 WG：規格作成に向け，検討 ペットとの共生環境検討 WG：適用範囲について議論	
2018 年度予算	160,000 円	**ホームページ公開の有無**：無 **委員会 HP アドレス**：無

項　　目	自己評価
委員会開催数	3　回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	1．日本建築学会環境規準　AIJES-A0003-2019　室内の臭気に関する対策・維持管理規準・同解説（改定版）
講習会	1．「日本建築学会環境基準 室内の臭気に関する対策・維持管理規準」改定講習会　参加者数　52 名
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	1．第 27 回空気シンポジウム「超高齢社会から考える高齢者施設・住宅－建築環境工学からのアプローチ」　参加者数　113 名 （資料名）同上
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1．今年度大会の OS の企画・運営を行った 2．今年度大会の OS 及び空気シンポジウムの企画を行った。 3．室内環境指針値に関する意見交換を行った。
委員会活動の問題点・課題	

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	(A)　B　C　D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	本小委員会において，室内空気中の化学物質のほか，微生物，臭気，アレルゲンなど室内空気汚染物質全般について，最新の情報を収集，意見交換を行った。また設置期間内において，燃焼排ガス汚染検討 WG，微小粒子状物質検討 WG，室内オゾン WG，空気清浄装置による室内汚染物質の除去評価方法検討 WG，室内燃焼排ガス汚染検討 WG，ペットとの共生環境検討 WG を設定することにより，幅広い議論を行うことができた。さらに，臭気に関する学会基準作成 WG により，臭気関連の学会基準の改定を行った。 室内環境基準の中でも二酸化炭素濃度の基準値について，調査検討を行った。空気シンポジウムの企画を行い，「建築物における空気環境管理基準を考える–換気・温熱環境設計と管理の課題」を開催した。さらに，特定の空気質に関する検討として，「超高齢社会から考える高齢者施設・住宅－建築環境工学からのアプローチ」の企画を行い，有益な議論を行う場を提供することができた。 大会においても積極的に OS の企画を行い，室内外の空気質，嗅覚特性と評価・対策，マイクロバイオームについて，議論する場を設けた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画･目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価･外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。